

QAW Ver.3.1 -導入編- 正誤表

2006年3月2日 クオリティ株式会社

- マニュアルの内容に誤りがあります。下記、正誤対象表をご覧ください。

ページ	見出し	誤		正
New 16	3-1 クライアントの対応OS	FreeBSD 4. 8(x86)/4. 9(x86)/ 5. 1(x86)/5. 2(x86)	→	FreeBSD 4. 4(x86)/4. 6(x86)
New 16	3-1 クライアントの対応OS	TurboLinux 7. 0(x86)/ 8. 0(x86)/10. 0(x86)/ 10. 0F(x86)	→	Turbolinux 7. 0(x86)
New 16	3-1 クライアントの対応OS	Red Hat Linux 7. 2(x86)/ 7. 3(x86)/8(x86)/9(x86)/ Works/Fedora	→	Red Hat Linux 7. 2(x86)/ 7. 3(x86)
30	2-2 KeyServerのライセンスの登録	QAWサーバをインストールすると、同時にKeyServerもインストールされます。	→	QNDサーバをインストールすると、同時にKeyServerもインストールされます。
40	3-2 KeyServerのライセンスの登録	QAWサーバをインストールすると、同時にKeyServerもインストールされます。	→	QNDサーバをインストールすると、同時にKeyServerもインストールされます。
New 51	2-3 クライアント主導で行うプル実行	作業手順は、次のとおりです。 ▶ SU時に使う管理者情報の登録 ▶ SUの手動インストール ▶ スレーブサーバのインストール	→	作業手順は、次のとおりです。 ▶ SU時に使う管理者情報の登録 ▶ SUの手動インストール ▶ インベントリの取得 ▶ スレーブサーバのインストール
New 51	2-3 クライアント主導で行うプル実行 SUの手動インストール	誤表記なし 該当項の次に右の項を追加	→	インベントリの取得 スレーブサーバとするPCのハードウェアインベントリを取得します。 QNDコンソールで、ハードウェアインベントリを取得するタスクを作成し、対象PCからプル実行します。 ハードウェアインベントリの取得方法については、『運用編』「I 3. タスクの作成」(21ページ) および「I 3-2 ハードウェアインベントリを収集する設定」(23ページ)、プル実行については、『運用編』「I 4-3 プル実行」(41ページ)を参照してください。
New 152	2-2 動作確認済みOSバージョン 表内 [Free BSD]	4. 8(x86)/4. 9(x86)/5. 1(x86)/ 5. 2(x86)	→	4. 4(x86)/4. 6(x86)
New 152	2-2 動作確認済みOSバージョン 表内 [Linux]	Red Hat Linux 7. 2(x86)/ 7. 3(x86)/8(x86)/9(x86)/ Works/Fedora turbolinux 7. 0(x86)/ 8. 0(x86)/10. 0(x86)/ 10. 0F(x86)	→	Red Hat Linux 7. 2(x86)/ 7. 3(x86) Turbolinux 7. 0(x86)

- マニュアルの内容に誤りがあります。下記、正誤対象表をご覧ください。

※2005年10月21日版より、新たに追加した内容はあります。

ページ	見出し	誤	正
211	設定した内容をホストに送信する	手順3 下	<p>手順3の下に「ヒント」として下記の追加をお願いします。</p> <p>ヒント その他の「設定した内容をホストに送信する」方法</p> <p>次の方法でも、設定した内容をホストに送信することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メニュー [アプリDB] - [ホストごとのDB設定] をクリック ・右クリックして表示される [ホストごとのアプリケーションに関するホストのプロパティ] の [更新] をクリック

QAW Ver.3.1 -リファレンス- 正誤表

2006年3月2日 クオリティ株式会社

- マニュアルの内容に誤りがあります。下記、正誤対象表をご覧ください。

ページ	見出し	誤		正
29	手順5 表内 [インストーラファイル]	[アプリケーションに関するプロパティ] の	→	[アプリケーションに関するホストのプロパティ] の
New38	4-7 メッセージ送信 ヒント その他のメッセージの送信方法	「6-14 電子メールの送信」を参照してください。	→	「I 6-13 電子メールの送信」(58ページ)を参照してください。
New125	9-2 「インストールするソフトウェアのプロパティ」 - [セットアップ] タブ 表内 [セットアッププログラム名]	誤表記なし 右の記述を追加	→	「セットアッププログラム名で利用できる環境変数」(122ページ)を参照してください。
New132	9-4 「インストールするソフトウェアのプロパティ」 - [ファイル転送] タブ 「ファイル/ディレクトリのコピーのプロパティ」 表内 [転送元ファイル名 (転送元ディレクトリ名)]	接続先サーバ (ホスト一覧の左のカラムの [接続先] に表示されているサーバ) を指定する場合は、コンピュータ名を%で指定することができます。 (例: %%¥¥data¥sample.doc)	→	削除
New137	9-7 「インストールするソフトウェアのプロパティ」 - [オプション] タブ 表内 [チェックポイントリスタートをする]	誤表記なし 右の記述を [説明] に追加	→	※チェックポイントリスタートが、中断しても可能な場合 ①そのタスクで複数のファイルの転送をおこなう設定をしている ②少なくとも1つのファイルの転送が完了している
New137	9-7 「インストールするソフトウェアのプロパティ」 - [オプション] タブ 表内 [帯域制限をして転送]	誤表記なし 右の記述を追加	→	注意 帯域制限できない場合 「ファイル/ディレクトリのコピーのプロパティ」で、[転送元へのファイルアクセスはエージェントが直接おこなう] にチェックを入れている場合は、この機能が使用できません。 「ファイル/ディレクトリのコピーのプロパティ」については、「「ファイル/ディレクトリのコピーのプロパティ」」(125ページ)を参照してください。
New194	8-4 ポート番号の説明 マスターサーバが使用するポート番号 表内 [QPオプション] [→] [マスターサーバ、スレーブサーバ] [27706]	[通信種別] UDP	→	UDP/TCP
207	1-1 サーバのQNDP usディレクトリ内のおもなディレクトリとファイル 表内 [KeyServer]	KeyServer	→	KeyServerディレクトリ

ページ	見出し	誤		正
209	1-4 ホスト側に作成されるおもなディレクトリとファイル 表内 [Binディレクトリ]	誤表記なし 右の記述を [説明] に追加	→	▶ QAWoption.exe : QPオプションと連携して、QAWの機能をコントロールします。
209	1-4 ホスト側に作成されるおもなディレクトリとファイル 表内 [acpcd.exe]		→	行ごと削除
209	1-4 ホスト側に作成されるおもなディレクトリとファイル 表内 [QAWoption.exe]		→	行ごと削除
209	1-4 ホスト側に作成されるおもなディレクトリとファイル 表内 [qnda.exe]		→	行ごと削除
209	1-4 ホスト側に作成されるおもなディレクトリとファイル 表内 [qndd.exe]		→	行ごと削除

■ マニュアルの内容に誤りがあります。下記、正誤対象表をご覧ください。

ページ	見出し	誤		正
53	5-2台帳の表示	誤表記なし 右の「ヒント」を追加	→	ヒント 利用時間 サスペンドおよび休止中は、アプリケーション利用時間に含まれて計算されます。
New 66	14. SW-ADOBE/SW-ADOBE (PRODUCT-ID) SW-ADOBE (PRODUCT-ID) 台帳 注意 「SW-ADOBE (PRODUCT-ID)」台帳の項目表示について	誤表記なし 右の記述を追加	→	Adobe製品のインベントリ収集においては、特定のレジストリよりシリアル番号等の値を取得しています。一部のAdobe製品では、仕様により、入力されたシリアル番号を変換した値をレジストリに設定している場合があります。そのため、「SW-ADOBE (PRODUCT-ID)」台帳で表示されるIDが入力されたシリアル番号とは異なる場合があります。
New 116	4. クオリティ社オプション製品インベントリ台帳で表示されるアプリケーション表内 [DocuCom]	5. 0/6. 0/7. 0	→	5. 0/6. 0

QAW Ver.3.1 -リモートコントロール- 正誤表

2006年3月2日 クオリティ株式会社

■ マニュアルの内容に誤りがあります。下記、正誤対象表をご覧ください。

ページ	見出し	誤		正
New 13	3. RCオプションのインストール	誤表記なし 右の注意を追加	→	<p>注意 RCオプション（常駐モード）の再インストール</p> <p>バージョンアップなどの目的で、RCオプション（常駐モード）を再インストールした場合、リモート操作ができなくなったり、リモート操作中に操作画面が突然終了したりすることがあります。それぞれの原因と対処は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ リモート操作ができない RCオプション（常駐モード）の再インストール後、ホストの再起動がおこなわれていない。対処：ホストの再起動 ▶ リモート操作画面の突然終了 リモート操作中に、タスクによるRCオプション（常駐モード）の再インストールが実行された。対処：リモート操作中にRCオプション（常駐モード）のインストールが実行されないようにする <p>※必要のない限り、RCオプションインストール済みのホストに対し、再インストールを行わないことをお奨めします。</p>
New 22	3-3 インストール方法 [QPオプションとSUのインストール]を利用したRCオプションのインストール	注意 リモートコントロールの機能は、RCオプションをインストール後にホスト側でいったんログオフし、ログオンし直してから有効になります。	→	削除
42	9-2 開始 QNDコンソールからのリモートコントロール 手順3	・RCオプションが「自動開始」モードのRCホストの場合、	→	・RCオプションが「常駐」モードのRCホストの場合、